

～花見山のふもとで
花と自然の中の保育実践～

育てる楽しさ！

花咲く喜び！

育てよう豊かな心！



社会福祉法人 わたり福祉会
さくら保育園

花見山の植物を図鑑で調べてみよう！

「どんな花や生き物がいるのかな」「自分たちの足で歩いてみつけよう」

と子どもたちは毎日ワクワクした気持ちで散歩を楽しんでいます。

散歩に出かけていくことは、子どもたちの日常生活の一部です。

「どこに行く?」「〇〇はいるかな?」等、花見山を楽しみながら過ごしてきました。

一年を通じて実践している散歩。より草花に興味を持てるようにスタンプラリーを取り入れ、親子遠足やデイ合宿でも実施しました。山道を歩きながら見つけた草花や虫のところにシールを貼り、興味津々の子どもたちでした。図鑑と見比べながら「もっと調べてみよう」「なにがさいているかな」と楽しんで歩きました。



～散歩活動の中でスタンプラリーを楽しみました～

種から育てる体験（発芽、鉢植え、地植え、収穫）

種まきをし毎日の水やりを一人ひとりが行い花を育てました。鉢植えを行い世話をすることが楽しい活動に繋がります。毎日「はやくめがでないかな？」など友達同士で話して、発芽を楽しみにしている様子も見られました。

地植えでは、自分たちでスコップを用いて、いも植えなど行いました。収穫では、**どんどん出てくるジャガイモにビックリ**「もっとでてくるかな」と楽しんで収穫していました。



野菜にも花が咲きました

生き物との出会い・経験を通して

・草花が咲いている周りには、蝶々や虫や小動物の生き物がいることに気づきました。「みてみて!!」「バッタいたよ」と興味を持ち、友だちと共有したり、ザリガニを飼育するきっかけとなりました。



～見たものを描いたり作ったり描画活動へ発展～

紫陽花を描いたり、作ったり描画活動として楽しみました。また、園庭に咲いていた、さくら保育園のさくらを拾って花びらを見たり描いたり、園庭裏の紫陽花の花をはさみ・のりを使って作りました。絵の具・クレヨン等自分でたくさんイメージをしながら、豊かに想像力を膨らませて描いている様子が伺えました。



保護者と共同の取り組みを通して

普段何気なく接している渡利地域の自然の豊かさについて、子どもたちだけでなく保護者にももっと知ってもらうため、また、コロナ禍の中、保護者同士の交流のきっかけになるために、以下の活動に取り組みました。

- ・6月に保護者と一緒に花を植えました。駐車場や園庭に花を植え、きれいに咲き誇りました。子どもたちが花の名前を覚えたり、保護者と一緒の活動を通して、花に関心を持つようになり、また、親子で過ごす楽しい時間が持てました。

- ・11月に花見山・殿上山、園庭等の環境整備を行いました。子どもたちは普段からの散歩コースを歩き、きれいにしようと張り切って歩きました。はじめての取り組みを行うことで、子どもたちも整備環境に関心を持つことが出来ました。

- ・民舞の荒馬作りを保護者さんと一緒に取り組みました。おやじの会の方々にもご協力いただき、荒馬のたけの部分を作ったり、子どもたちのためにお手伝いをいただきました。出来上がった荒馬を嬉しそうに眺める子どもたち。踊る気持ちにも弾みがかかりました。



～まとめ～

- ・花見山のふもとでは、花との出会いや自然の中での保育実践を通し、**小動物、生き物たち**の存在に気づく発見や喜びがありました。
- ・姉妹園との交流で、別な場所には知らない花や生き物がいることに気づきました。子どもたちの興味と関心は、一つの事から次から次へと発展していく面白さ・体験を通して学ぶことがたくさんありました。
- ・子どもたちの感性は、**自然を通して感じたこと、考えたこと、伝えたいことを**、描画活動や、造形美術の活動で表現されます。その時の子どものつぶやきや思いを保育士が知ることで、子どもの感性の理解へとつながりました。
- ・田植えや稲刈りの活動では、収穫までの成長を見に行き、季節の移り変わりとともに苗が成長する様子に気づきました。荒馬を踊り、お米の豊作を祝うことは、馬と人間との生活を考えるきっかけとなりました。

今年度の取り組みを通して子どもの**豊かな心と探究心**が育ちました。自然を通して活動していく意味が大きかったと感じるとともに、**自然の中の保育実践プロジェクト活動**を通して、子どもたちの豊かな心と感性を深めていける実践に繋げることができました。